

科目名	大学英語へのステップ I	
担当者	酒瀬川 純行 / SAKASEGAWA, Sumiyuki	
科目情報	外国語（英語） / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	英文の基本構造に留意しながら毎時間自由英作文に取り組み、又、簡単な英字新聞記事を読みます。
	到達目標	英語の基本構造を理解し、基礎的な英語で読み、書きができるようにする。
授業計画	(1) 英語の基本構造とその必要性 (2) Composition, newspaper article and prints provided by the instructor (3) Composition, newspaper article and prints provided by the instructor (4) Composition, newspaper article and prints provided by the instructor (5) Composition, newspaper article and prints provided by the instructor (6) Composition, newspaper article and prints provided by the instructor (7) Composition, newspaper article and prints provided by the instructor (8) Composition, newspaper article and prints provided by the instructor (9) Composition, newspaper article and prints provided by the instructor (10) Composition, newspaper article and prints provided by the instructor (11) Composition, newspaper article and prints provided by the instructor (12) Composition, newspaper article and prints provided by the instructor (13) Composition, newspaper article and prints provided by the instructor (14) Composition, newspaper article and prints provided by the instructor (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	毎回出される自由英作文をタイプアップしておく。
	事後学習	英字新聞、自由英作文、配布プリントをとおして習った単語や、表現を復習し整理する。
使用教材・参考文献	【教】 BBC News, 担当者作成プリント 【参】 S Sakasegawa Companion to Practical English. Seizannsha 2000 ISBN 4-88359-041-0	
成績評価方法と基準	<基準> 英語の基本構造を習得し、英語で簡単な日常会話や自己表現ができるようになったものは合格とする。 <方法> 授業中の発表、コンツリビューション60%、終了試験40%。	
備考		

科目名	大学英語へのステップ I	
担当者	藏本 真衣 / KURAMOTO, Mai	
科目情報	外国語（英語） / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	歌詞、詩、児童文学作品、英字新聞やエッセイ、ニュース番組や洋画を通して、様々な英語表現を学ぶ。また、基本的な文法、英語のことわざ、カタカナ英語、日常英会話等も扱う。
	到達目標	英語独自の表現を学ぶことで、文化・思想の相違を理解する。 英語の面白さと利便性を知ること为目标とする。
授業計画	(1) 講義内容の説明 (2) 詩 / 文法①：詩に関連する文法事項 (3) 詩 / 文法②：詩に関連する文法事項 (4) 英字新聞・エッセイ / 文法③：英字新聞またはエッセイに関連する文法事項 (5) 歌詞 / 文法④：歌詞に関連する文法事項 (6) 歌詞 / 文法⑤：歌詞に関連する文法事項 (7) 英字新聞・エッセイ / 文法⑥：英字新聞またはエッセイに関連する文法事項 (8) 児童文学作品 / 文法⑦：作品に関連する文法事項 (9) 児童文学作品 / 文法⑧：作品に関連する文法事項 (10) 英字新聞・エッセイ / 文法⑨：英字新聞またはエッセイに関連する文法事項 (11) ニュース番組 / 文法⑩：ニュース番組に関連する文法事項 (12) ニュース番組 / 文法⑪：ニュース番組に関連する文法事項 (13) 洋画 / 文法⑫：映画に関連する文法事項 (14) 洋画 / 文法⑬：映画に関連する文法事項 (15) 総まとめ・予備日 ※テーマの順番が変更される可能性があります。	
自学自習	事前学習	・使用教材を事前に予習しておくこと。 ・意味の分からない用語は事前に辞書で調べておくこと。
	事後学習	・各テーマ終了時に実施する小テストの準備。 ・授業の内容を振り返り、配布物、ノートを整理、提出物の準備。
使用教材・参考文献	【教】 教科書は特に指定しない。講義中に配布するプリント（ハンドアウト）を用いる。 【参】	
成績評価方法と基準	<基準> 英語独自の表現を学ぶことで、文化・思想の相違を理解した者を合格とする。 <方法> 受講態度20% 小テスト15% 提出物15% 最終テスト50%	
備考	本授業は英語を基礎から少しでも理解したいと前向きに取り組む姿勢を期待する。毎回、英和・和英辞書を持参すること。講義と評価方法の詳細については、初回の授業で説明する。	

科目名	大学英語へのステップⅡ	
担当者	蒲地 賢一郎 / KAMACHI, Kenichiro	
科目情報	外国語（英語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	英語の利便性、面白さ、魅力、または基本的構造を、再度考えてみるための授業、そしてそれらの実践をおこなう。
	到達目標	英語発音について学び、具体的に音が出せるようになる。 英語発音について学び、具体的に英語音を聞き分ける。 8品詞、5文型を学び、丁寧に英文を読めるようになる。 8品詞、5文型を学び、正確に英文を書けるようになる。
授業計画	(1) be 動詞 (2) 一般動詞（現在） (3) 一般動詞（過去） (4) 進行形 (5) 未来形 (6) 助動詞 (7) 名詞・冠詞 (8) 代名詞 (9) 前置詞 (10) 形容詞・副詞 (11) 比較 (12) 命令文・感嘆文 (13) 接続詞 (14) 不定詞 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない単語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	3つの英文課題を毎週提出。
使用教材・参考文献	【教】 佐藤哲三，愛甲ゆかり，新藤照夫『English Primer 大学生の英語入門』南雲堂 2006年 ISBN4-523-17463-6 【参】 なし	
成績評価方法と基準	<基準> 本演習は、単に優しい英語の授業を提供するものではない。真剣に、もう一度基本からしっかりと英語にとり組み、使える喜びを得たいという人のみを歓迎する。受講者は25名ぐらい。8品詞、5文型が修得できたものを合格とする。 <方法> Class Participation 50%, Homework 25%, Final 25%	
備考	毎回の出席を心がけて下さい。	

科目名	大学英語へのステップ II	
担当者	藏本 真衣 / KURAMOTO, Mai	
科目情報	外国語（英語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	「国際人」になる為にはまず、自国のこと、自分自身のことを知る所から始まる。この授業では外国の方にどのように日本文化、日本人について伝えるか考える。また、英文法、英字新聞、物語、日常英会話、カタカナ英語、イディオム等を扱う。 ※平成25年度の日本文化テーマ：お弁当、折り紙、落語、お正月等
	到達目標	日本文化、日本人を再認識し、英語で外国の方に日本について説明できるようになる。また、英語に関心を持ってもらうことを目標とする。
授業計画	(1) 講義内容の説明 (2) 日本文化① / 文法：テーマ資料関連の文法項目 (3) 日本文化① / 文法：テーマ資料関連の文法項目 (4) 日本文化① / 文法：テーマ資料関連の文法項目 (5) 英字新聞・物語 / 文法：新聞記事、物語関連の文法項目 / 小テスト (6) 日本文化② / 文法：テーマ資料関連の文法項目 (7) 日本文化② / 文法：テーマ資料関連の文法項目 (8) 日本文化② / 文法：テーマ資料関連の文法項目 (9) 英字新聞・物語 / 文法：新聞記事、物語関連の文法項目 / 小テスト (10) 日本文化③ / 文法：テーマ資料関連の文法項目 (11) 日本文化③ / 文法：テーマ資料関連の文法項目 (12) 日本文化③ / 文法：テーマ資料関連の文法項目 (13) 英字新聞・物語 / 文法：テーマ資料関連の文法項目 / 小テスト (14) 英字新聞・物語 / 総まとめ (15) 総まとめ ※テーマの順番が変更になる可能性があります。	
自学自習	事前学習	・使用教材を事前に予習。 ・意味の分からない用語は事前に辞書で調べておく。
	事後学習	・各テーマ終了時に実施する小テストの準備。 ・授業の内容を振り返り、配布物、ノートを整理、提出物の準備。
使用教材・参考文献	【教】 教科書は指定しない。講義中に配布するプリントを用いる。 【参】	
成績評価方法と基準	<基準> 日本文化を英語で表現できるものを合格とする。 <方法> 受講態度20% 提出物15% 小テスト15% 終了試験50%	
備考	本講義は英語を基礎から少しでも理解したいと前向きに取り組む姿勢を期待する。毎回、英和・和英辞書を持参すること。講義と評価方法の詳細については、初回の授業で説明する。	

科目名	英語 I (人関A)	
担当者	マーカス・シオボールド / Marcus Theobald	
科目情報	外国語 (英語) / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
授業マトリクス上の位置づけ (科目が設置された学科、コースでの位置づけ)	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	Reading, speaking, having fun with English through games and activities. リーディング、スピーキング、また英語を使ったゲームをして楽しむ。
	到達目標	To encourage students to enjoy studying English and inspire students to consider international issues. 学生に国際問題を考え、また英語を学ぶことの楽しさを知ってもらう。
授業計画	(1) Teacher introduction. Country, culture, hobbies, music. (2) Campus treasure hunt. (3) Phonemic chart / tongue twisters. (4) Crossword / song (5) Newspaper game (6) DVD and film review test. (7) Mid-semester review test. (8) BBC.COM (9) DVD and film review test. (10) DVD and film review test. (11) Interview I. (12) Reading comprehension. (13) Listening practice. (14) Interview II (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	授業の内容を復習しておくこと。
使用教材・参考文献	【教】 担当者作成資料 【参】 Inside English - Maggs - Macmillan Languagehouse ほか	
成績評価方法と基準	<基準> 授業時の活動への参加と、課題に合格することを単位取得の条件とする。 <方法> 授業中の発表、コントリビューション50% 試験50%	
備考		

科目名	英語 I (法A)	
担当者	徳重 靖子 / TOKUSHIGE, Yasuko	
科目情報	外国語 (英語) / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
授業マトリクス上の位置づけ (科目が設置された学科、コースでの位置づけ)	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	優しい英語で書かれたモヒカンの話を読む。心に残る言葉や英語独特の表現を暗唱する。 ネイティブアメリカンの智恵や風習も学ぶ。 CDを聴き、正しい発音を学ぶ。 一文ずつ訳させ、物語を楽しむ。
	到達目標	優しい英語で書かれたモヒカンの話を読む。心に残る言葉や英語独特の表現を暗唱する。 ネイティブアメリカンの智恵や風習も学ぶ。 CDを聴き、正しい発音を学ぶ。 一文ずつ訳させ、物語を楽しむ。
授業計画	(1) Native Americans の紹介 (2) The Last of the Mohicans を読み進みながら、暗唱もする。 (3) 〃 (4) 〃 (5) 〃 (6) 〃 (7) 〃 (8) 〃 (9) 〃 (10) 〃 (11) 〃 (12) 〃 (13) 〃 (14) 暗唱が終わっていない人の時間 (15) 期末テストの質疑応答	
自学自習	事前学習	・使用教材を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	毎時間内に終わらせられなかった暗唱を次回までに覚えておくこと。
使用教材・参考文献	【教】 教科書 The Last of the Mohicans Pearson Longman ISBN 978-1405842877 【参】	
成績評価方法と基準	<基準> 課せられた暗唱を全部出来ただけがテストを受ける資格があります。 <方法> 期末テスト 80% 平常点 20%	
備考		

科目名	英語 I (人関B)	
担当者	スコット・バーンズ / Scott Burns	
科目情報	外国語 (英語) / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
授業マトリクス上の位置づけ (科目が設置された学科、コースでの位置づけ)	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	ゲームや会話を通じ、自分自身を表現する演習を行なう
	到達目標	英語表現の上達と使える英語を習得し、外国人に臆することなく話せるようになることを目標とする
授業計画	(1) 自己紹介 (学生、講師) (2) Treasure Hunt (3) Talkopoly Game (4) Talk a Lot 2 第2課 (5) Talk a Lot 2 第2課 (6) Talk a Lot 2 第3課 (7) Talk a Lot 2 第3課 小テスト (8) Talk a Lot 2 第4課 (9) Talk a Lot 2 第4課 (10) Talk a Lot 2 第5課 (11) Talk a Lot 2 第5課 小テスト (12) 復習1 (13) 復習2 (14) 復習3 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・課題をこなす ・TV、CD等、何でもいいので英語を聴くこと。
使用教材・参考文献	【教】 Talk a Lot 2 【参】	
成績評価方法と基準	<基準> 出席率授業への取り組み試験 <方法>	
備考	臆することなく、楽しく英語を学びましょう。	

科目名	英語 I (法B)	
担当者	蒲地 賢一郎 / KAMACHI, Kenichiro	
科目情報	外国語 (英語) / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
授業マトリクス上の位置づけ (科目が設置された学科、コースでの位置づけ)	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	大きい声で、人の前で英語を話す授業です。毎週、5, 6行の英会話文を暗記し、その実演をします。
	到達目標	日本語音と英語音との微妙な差異に違いについて学び、その違いが自分で音として出せるようになる。
授業計画	(1) 出会ったときのあいさつ (2) 聞き返す (3) 相づちを打つ (4) おわびを言う/謝罪する (5) 確認する/念を押す (6) 予定・都合をたずねる (7) アウトドア (8) 希望を言う (9) 仕事 (10) 飲み物などをすすめる (11) 趣味 (12) 食べ物/グルメ (13) スポーツ (14) 映画 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない単語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	英語音に関する聴き取りの課題を毎週おこなう。
使用教材・参考文献	【教】 リードくみ子、ウィリアム・リード 『そのまま使える日常英会話』 日本文芸社 2008年 ISBN978-4-537-20654-8 【参】 なし	
成績評価方法と基準	<基準> 日・英語の微妙な音の違いを自分で音として出せることを合格とする。 <方法> Dialogue 25%, Extension 25%, Homework 25%, Final 25%	
備考	毎回の出席を心掛けてください。	

科目名	英語 I (人関C)	
担当者	入江 公啓 / IRIE, Kimihiro	
科目情報	外国語 (英語) / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
授業マトリクス上の位置づけ (科目が設置された学科、コースでの位置づけ)	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	基本的な日常会話を学習する。 英語の発音、リズムなどのポイントを学習する。 コミュニケーションを目的にして、英語を使う。
	到達目標	日常的なコミュニケーションを英語で行うことができる。
授業計画	(1) 授業概要説明、Unit 1: Hi, I'm Michiko. (2) Unit 2: Can I get your telephone number? (3) Unit 3: What's the time? (4) Unit 4: Hometowns (5) Unit 5: What's your favorite food? (6) Unit 6: How often do you ...? (7) Unit 7: Music in Your Life (8) Oral Exam 1 (9) Unit 8: Who's older, you or your sister? (10) Unit 9: How was your weekend? (11) Unit 10: Movies and Dating (12) Unit 11: Weather, Seasons, and Health (13) Unit 12: Cell Phones, Computers, and Other Useful Things (14) Unit 13: Have you ever ...? (15) Oral Exam 2	
自学自習	事前学習	・予習を行うこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・単語、重要表現等の復習を行うこと。
使用教材・参考文献	【教】 Cronin, J. (2010). "Getting Into English (始めよう英会話!)" Nan'un-do. ISBN: 9784523176503 【参】 辞書	
成績評価方法と基準	<基準> 課題を通じて日常的なコミュニケーションを英語でとることができた者は合格とする。 <方法> Oral Exams 40%、受講態度20%、課題ほか40%	
備考		

科目名	英語 I (法C)	
担当者	マーカス・シオボールド / Marcus Theobald	
科目情報	外国語 (英語) / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
授業マトリクス上の位置づけ (科目が設置された学科、コースでの位置づけ)	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	Reading, speaking, having fun with English through games and activities. リーディング、スピーキング、また英語を使ったゲームをして楽しむ。
	到達目標	To encourage students to enjoy studying English and inspire students to consider international issues. 学生に国際問題を考え、また英語を学ぶことの楽しさを知ってもらう。
授業計画	(1) Teacher introduction. Country, culture, hobbies, music. (2) Campus treasure hunt. (3) Phonemic chart / tongue twisters. (4) Crossword / song (5) Newspaper game (6) DVD and film review test. (7) Mid-semester review test. (8) BBC.COM (9) DVD and film review test. (10) DVD and film review test. (11) Interview I. (12) Reading comprehension. (13) Listening practice. (14) Interview II (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	授業の内容を復習しておくこと。
使用教材・参考文献	【教】 担当者作成資料 【参】 Inside English - Maggs - Macmillan Languagehouse ほか	
成績評価方法と基準	<基準> 授業時の活動への参加と、課題に合格することを単位取得の条件とする。 <方法> 授業中の発表、コントリビューション50% 試験50%	
備考		

科目名	英語 I (人関D)	
担当者	蒲地 賢一郎 / KAMACHI, Kenichiro	
科目情報	外国語 (英語) / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
授業マトリクス上の位置づけ (科目が設置された学科、コースでの位置づけ)	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	大きい声で、人の前で英語を話す授業です。毎週、5, 6行の英会話文を暗記し、その実演をします。
	到達目標	日本語音と英語音との微妙な差異に違いについて学び、その違いが自分で音として出せるようになる。
授業計画	(1) 出会ったときのあいさつ (2) 聞き返す (3) 相づちを打つ (4) おわびを言う/謝罪する (5) 確認する/念を押す (6) 予定・都合をたずねる (7) アウトドア (8) 希望を言う (9) 仕事 (10) 飲み物などをすすめる (11) 趣味 (12) 食べ物/グルメ (13) スポーツ (14) 映画 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない単語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	英語音に関する聴き取りの課題を毎週おこなう。
使用教材・参考文献	【教】 リードくみ子、ウィリアム・リード 『そのまま使える日常英会話』 日本文芸社 2008年 ISBN978-4-537-20654-8 【参】 なし	
成績評価方法と基準	<基準> 日・英語の微妙な音の違いを自分で音として出せることを合格とする。 <方法> Dialogue 25%, Extension 25%, Homework 25%, Final 25%	
備考	毎回の出席を心掛けてください。	

科目名	英語Ⅱ（人関A）	
担当者	蒲地 賢一郎 / KAMACHI, Kenichiro	
科目情報	外国語（英語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	大きい声で、人の前で英語を話す授業です。毎週、5、6行の英会話文を暗記し、その実演をします。
	到達目標	日本語音と英語音との微妙な差異に違いについて学び、その違いが自分で音として出せるようになる。
授業計画	(1) 出会ったときのあいさつ (2) 聞き返す (3) 相づちを打つ (4) おわびを言う/謝罪する (5) 確認する/念を押す (6) 予定・都合をたずねる (7) アウトドア (8) 希望を言う (9) 仕事 (10) 飲み物などをすすめる (11) 趣味 (12) 食べ物/グルメ (13) スポーツ (14) 映画 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない単語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	英語音に関する聴き取りの課題を毎週おこなう。
使用教材・参考文献	【教】 リードくみ子、ウィリアム・リード 『そのまま使える日常英会話』 日本文芸社 2008年 ISBN978-4-537-20654-8 【参】 なし	
成績評価方法と基準	<基準> 日・英語の微妙な音の違いを自分で音として出せることを合格とする。 <方法> Dialogue 25%, Extension 25%, Homework 25%, Final 25%	
備考	毎回の出席を心掛けてください。	

科目名	英語Ⅱ（法A）	
担当者	入江 公啓 / IRIE, Kimihiro	
科目情報	外国語（英語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	基本的な日常会話を学習する。 英語の発音、リズムなどのポイントを学習する。 コミュニケーションを目的にして、英語を使う。
	到達目標	日常的なコミュニケーションを英語で行うことができる。
授業計画	(1) 授業概要説明 (2) Unit 1: On the Plane (3) Unit 2: At the Currency Exchange (4) Unit 3: At the Hotel 1 (5) Unit 4: At the Hotel 2 (6) Unit 5: On the Train/Bus (7) Unit 6: Sightseeing 1 (8) Oral Exam 1 (9) Unit 7: Shopping 1 (10) Unit 8: Shopping 2 (11) Unit 9: At the Post Office (12) Unit 10: Sightseeing 2 (13) Unit 11: At the Restaurant (14) Unit 12: At the Hospital/Pharmacy (15) Oral Exam 2	
自学自習	事前学習	・予習を行うこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・単語、重要表現等の復習を行うこと。
使用教材・参考文献	【教】 Kudo, T. (2014). "My First Trip: Key Phrases for Traveling Abroad" CENGAGE Learning. ISBN: 9784863122420 【参】 辞書	
成績評価方法と基準	<基準> 課題を通じて日常的なコミュニケーションを英語でとることができた者は合格とする。 <方法> Oral Exams 40%、受講態度20%、課題ほか40%	
備考		

科目名	英語Ⅱ（法B）	
担当者	マーカス・シオボールド / Marcus Theobald	
科目情報	外国語（英語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	Reading, speaking, having fun with English through games and activities. リーディング、スピーキング、また英語を使ったゲームをして楽しむ。
	到達目標	To encourage students to enjoy studying English and inspire the feeling of global citizenship. 学生に国際問題を考え、また英語を学ぶことの楽しさを知ってもらう。
授業計画	(1) Teacher introduction. Country, culture, hobbies, music. (2) Campus treasure hunt. (3) Halloween. (4) Interview I. (5) DVD and film review test. (6) DVD and film review test. (7) Mid-semester review test. (8) Interview II. (9) DVD and film review test. (10) DVD and film review test. (11) Christmas. (12) Haiku. (13) Chimata no eigo (14) Exam preview test. (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	授業の内容を復習しておくこと。
使用教材・参考文献	【教】 担当者作成資料 【参】 Moving on with English - Bray - Nan'un-do ほか	
成績評価方法と基準	<基準> 授業時の活動への参加と、課題に合格することを単位取得の条件とする。 <方法> 授業中の発表、コントリビューション50% 試験50%	
備考		

科目名	英語Ⅱ（人関B）	
担当者	入江 公啓 / IRIE, Kimihiro	
科目情報	外国語（英語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	基本的な日常会話を学習する。 英語の発音、リズムなどのポイントを学習する。 コミュニケーションを目的にして、英語を使う。
	到達目標	日常的なコミュニケーションを英語で行うことができる。
授業計画	(1) 授業概要説明 (2) Unit 1: On the Plane (3) Unit 2: At the Currency Exchange (4) Unit 3: At the Hotel 1 (5) Unit 4: At the Hotel 2 (6) Unit 5: On the Train/Bus (7) Unit 6: Sightseeing 1 (8) Oral Exam 1 (9) Unit 7: Shopping 1 (10) Unit 8: Shopping 2 (11) Unit 9: At the Post Office (12) Unit 10: Sightseeing 2 (13) Unit 11: At the Restaurant (14) Unit 12: At the Hospital/Pharmacy (15) Oral Exam 2	
自学自習	事前学習	・予習を行うこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・単語、重要表現等の復習を行うこと。
使用教材・参考文献	【教】 Kudo, T. (2014). "My First Trip: Key Phrases for Traveling Abroad" CENGAGE Learning. ISBN: 9784863122420 【参】 辞書	
成績評価方法と基準	<基準> 課題を通じて日常的なコミュニケーションを英語でとることができた者は合格とする。 <方法> Oral Exams 40%、受講態度20%、課題ほか40%	
備考		

科目名	英語Ⅱ（人関C）	
担当者	スコット・バーンズ / Scott Burns	
科目情報	外国語（英語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	ゲームや会話を通じ、自分自身を表現する演習を行なう
	到達目標	英語表現の上達と使える英語を習得し、外国人に臆することなく話せるようになることを目標とする
授業計画	(1) 自己紹介（学生、講師） (2) Treasure Hunt (3) Talkopoly Game (4) Talk a Lot 1 第6課 (5) Talk a Lot 1 第6課 (6) Talk a Lot 1 第7課 (7) Talk a Lot 1 第7課 小テスト (8) Talk a Lot 1 第8課 (9) Talk a Lot 1 第8課 (10) Talk a Lot 1 第9課 (11) Talk a Lot 1 第9課 小テスト (12) 復習1 (13) 復習2 (14) 復習3 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・課題をこなす ・TV、CD等、何でもいいので英語を聴くこと。
使用教材・参考文献	【教】 Talk a Lot 1 【参】	
成績評価方法と基準	<基準> 出席率授業への取り組み試験 <方法>	
備考	臆することなく、楽しく英語を学びましょう。	

科目名	英語Ⅱ（法C）	
担当者	蒲地 賢一郎 / KAMACHI, Kenichiro	
科目情報	外国語（英語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	大きい声で、人の前で英語を話す授業です。毎週、5、6行の英会話文を暗記し、その実演をします。
	到達目標	日本語音と英語音との微妙な差異に違いについて学び、その違いが自分で音として出せるようになる。
授業計画	(1) 出会ったときのあいさつ (2) 聞き返す (3) 相づちを打つ (4) おわびを言う/謝罪する (5) 確認する/念を押す (6) 予定・都合をたずねる (7) アウトドア (8) 希望を言う (9) 仕事 (10) 飲み物などをすすめる (11) 趣味 (12) 食べ物/グルメ (13) スポーツ (14) 映画 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない単語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	英語音に関する聴き取りの課題を毎週おこなう。
使用教材・参考文献	【教】 リードくみ子、ウィリアム・リード 『そのまま使える日常英会話』 日本文芸社 2008年 ISBN978-4-537-20654-8 【参】 なし	
成績評価方法と基準	<基準> 日・英語の微妙な音の違いを自分で音として出せることを合格とする。 <方法> Dialogue 25%, Extension 25%, Homework 25%, Final 25%	
備考	毎回の出席を心掛けてください。	

科目名	英語Ⅱ（人関D）	
担当者	マーカス・シオボールド / Marcus Theobald	
科目情報	外国語（英語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	Reading, speaking, having fun with English through games and activities. リーディング、スピーキング、また英語を使ったゲームをして楽しむ。
	到達目標	To encourage students to enjoy studying English and inspire the feeling of global citizenship. 学生に国際問題を考え、また英語を学ぶことの楽しさを知ってもらう。
授業計画	(1) Teacher introduction. Country, culture, hobbies, music. (2) Campus treasure hunt. (3) Halloween. (4) Interview I. (5) DVD and film review test. (6) DVD and film review test. (7) Mid-semester review test. (8) Interview II. (9) DVD and film review test. (10) DVD and film review test. (11) Christmas. (12) Haiku. (13) Chimata no eigo (14) Exam preview test. (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	授業の内容を復習しておくこと。
使用教材・参考文献	【教】 担当者作成資料 【参】 Moving on with English - Bray - Nan'un-do ほか	
成績評価方法と基準	<基準> 授業時の活動への参加と、課題に合格することを単位取得の条件とする。 <方法> 授業中の発表、コントリビューション50% 試験50%	
備考		

科目名	英語A (TOEIC I)	
担当者	入江 公啓 / IRIE, Kimihiro	
科目情報	外国語 (英語) / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
授業マトリクス上の位置づけ (科目が設置された学科、コースでの位置づけ)	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	本科目では、実際にTOEICの練習問題を解きながら、TOEICの解き方のポイントや重要な文法、語句について学ぶ。
	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> それぞれのレベルに合わせてTOEICの得点を高める。 TOEICの出題パターンを理解し、最良の問題の解き方を習得する。
授業計画	(1) 授業概要説明 (2) Chapter 1: Job Hunting (3) Chapter 2: Boyfriend's Birthday (4) Chapter 3: Giving a Presentation (5) Chapter 4: Trip to Phuket in Thailand (6) Chapter 5: New Distribution Channel (7) Chapter 6: A Letter to Father (8) Chapter 7: Board Meeting (9) Chapter 8: Traffic Accident (10) Chapter 9: Business Trip Abroad (11) Chapter 10: Miraculous Recovery (12) Chapter 11: President's Decision (13) Chapter 12: Proposal (14) Chapter 13: Getting a Promotion (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	<ul style="list-style-type: none"> 「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	授業の初めに、前回の授業内容についてのクイズを行う。
使用教材・参考文献	【教】 石井隆之ほか著 「CD付 ストーリーで学ぶTOEIC®TESTビギナーズ (ENJOY PRACTICING FOR THE TOEIC TEST)」 三修社 2012年 ISBN:978-4-384-33421-0 C1082 【参】 英語の辞書	
成績評価方法と基準	<基準> TOEICの出題パターンを理解し、最良の問題の解き方を習得した者は合格とする。 <方法> 期末試験50%、受講態度20%、課題ほか30%	
備考	<ul style="list-style-type: none"> 予習、復習をしっかりとすること。 辞書を毎回必ず持ってくること。 	

科目名	英語A (TOEIC I)	
担当者	藏本 真衣 / KURAMOTO, Mai	
科目情報	外国語 (英語) / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
授業マトリクス上の位置づけ (科目が設置された学科、コースでの位置づけ)	教育課程の獲得目標	
	人間・文化・社会を理解するための基礎的教養	
科目概要	授業内容	テキストと演習問題を通して、TOEICのリーディングとリスニングの各セクションの攻略ポイントを学ぶ。また、ディクテーション、音読とシャドーイングを毎回の講義に取り入れ、リスニング能力の強化を図る。
	到達目標	TOEICの問題の攻略ポイントを習得し、本番でのペース配分を身に付けられるようにする。また、リスニング力、単語力、熟語と文法力を身に付け、各々のTOEICスコアを上げる。
授業計画	(1) 講義内容とTOEICの説明・演習問題 (2) Unit 1: Everyday life (3) Unit 2: Travel (4) Unit 3: Hotels (5) Unit 4: Job (6) Unit 5: Job Interviews (7) Unit 6: At the Office (8) Unit 7: Company Information, Department Names (9) Unit 8: Job Titles and Responsibilities (10) Unit 9: Products and Services (11) Unit 10: Shopping (12) Unit 11: Meeting (13) Unit 12: Promotions and Salaries (14) Unit 13: Business Performances (15) まとめ	
自学自習	事前学習	・指定箇所の予習。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・毎回、講義の初めに、前回の講義内容の小テストを行うため、復習しておくこと。
使用教材・参考文献	【教】 水島孝司、Roger Pattimore TOEIC TEST TRAINING 500 <Revised Edition> 2012年 南雲堂 ISBN 978-4-523-17713-5 C0082 【参】	
成績評価方法と基準	<基準> 積極的に受講し、リスニング力強化に努め、TOEICの演習問題で扱われた単語、熟語、文法を理解したものは合格とする。 <方法> 受講態度15% 小テスト・提出物35% 筆記試験50%	
備考	毎回、英和辞書を持参するように。講義内容と評価方法については初回の講義で説明する。	

科目名	英語 B (TOEIC II)	
担当者	入江 公啓 / IRIE, Kimihiro	
科目情報	外国語 (英語) / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
授業マトリクス上の位置づけ (科目が設置された学科、コースでの位置づけ)	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	本科目では、実際にTOEICの練習問題を解きながら、TOEICの解き方のポイントや重要な文法、語句について学ぶ。
	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> それぞれのレベルに合わせてTOEICの得点を高める。 TOEICの出題パターンを理解し、最良の問題の解き方を習得する。
授業計画	(1) 授業概要説明 (2) Lesson 1: Headhunting, Lesson 2: The Internet (3) Lesson 3: Weddings, Lesson 4: Corporate Culture (4) Lesson 5: Music, Lesson 6: Movies (5) Lesson 7: Sightseeing, Lesson 8: Recruiting (6) Lesson 9: Shopping, Lesson 10: Forecasts (7) Lesson 11: Customs, Lesson 12: Crime (8) Lesson 13: New Products, Lesson 14: Global Matters (9) Lesson 15: Health, Lesson 16: Parties (10) Lesson 17: Skiing, Lesson 18: Travel (11) Lesson 19: Dating, Lesson 20: Hospitals (12) Lesson 21: Advertising, Lesson 22: Opportunities (13) Lesson 23: Employment, Lesson 24: Banking/Finance (14) 総まとめ(1) (15) 総まとめ(2)	
自学自習	事前学習	<ul style="list-style-type: none"> 「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	授業の初めに、前回の授業内容についてのクイズを行う。
使用教材・参考文献	【教】 Donald Beaverほか著 「新TOEICテスト・ナビゲーター - Navigator for the TOEIC Test <Newly Updated Edition>」 2013年 南雲堂 ISBN: 978-4-523-17723-4 C0082 【参】 英語の辞書	
成績評価方法と基準	<基準> TOEICの出題パターンを理解し、最良の問題の解き方を習得した者は合格とする。 <方法> 期末試験50%、受講態度20%、課題ほか30%	
備考	<ul style="list-style-type: none"> 予習、復習をしっかりとすること。 辞書を毎回必ず持ってくること。 	

科目名	英語 B (TOEIC II)	
担当者	藏本 真衣 / KURAMOTO, Mai	
科目情報	外国語 (英語) / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
授業マトリクス上の位置づけ (科目が設置された学科、コースでの位置づけ)	教育課程の獲得目標	
	人間・文化・社会を理解するための基礎的教養	
科目概要	授業内容	テキストと演習問題を通して、TOEICのリーディング問題攻略に必要な英語音声的な特徴を理解し、読解問題を解くのに必要な文法事項を確認する。
	到達目標	TOEIC問題の攻略ポイントを習得し、本番でのペース配分を身に付られるようにする。また、リスニング力、単語力、熟語と文法力を身に付け、各々のTOEICスコアを上げる。
授業計画	(1) 講義内容とTOEICについて説明・演習問題 (2) Lesson 1: Headhunting (Listening) • Lesson 2: The Internet (Reading) (3) Lesson 3: Weddings (L) • Lesson 4: Corporate Culture (R) (4) Lesson 5: Music (L) • Lesson 6: Movies (R) (5) Lesson 7: Sightseeing (L) • Lesson 8: Recruiting (R) (6) Lesson 9: Shopping (L) • Lesson 10: Forecasts (R) (7) Lesson 11: Customs (L) • Lesson 12: Crime (R) (8) Lesson 13: New Products (L) • Lesson 14: Global Matters (R) (9) Lesson 15: Health (L) • Lesson 16: Parties (R) (10) Lesson 17: Skiing (L) • Lesson 18: Travel (R) (11) Lesson 19: Dating (L) • Lesson 20: Hospitals (R) (12) Lesson 21: Advertising (L) • Lesson 22: Opportunities (R) (13) Lesson 23: Employment (L) • Lesson 24: Banking / Finance (R) (14) 予備日・演習問題 (15) まとめ	
自学自習	事前学習	・指定箇所の予習。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・毎回、講義の初めに、前回の講義内容の小テストを行うため、復習しておくこと。
使用教材・参考文献	【教】 Donald Beaver, Michael Walker, 三原京 Navigator for the TOEIC TEST [Newly Updated Edition] 2013年 南雲堂 ISBN 978-4-523-17723-4 C0082 【参】	
成績評価方法と基準	<基準> 積極的に受講し、リスニング力強化に努め、TOEICの演習問題で扱われた単語、熟語、文法を理解したものは合格とする。 <方法> 受講態度15% 小テスト・提出物35% 筆記試験50%	
備考		

科目名	英語C（ビジネス英語I）	
担当者	入江 公啓 / IRIE, Kimihiro	
科目情報	外国語（英語） / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	本科目では、ビジネスで使われる英語を学習する。オフィスで交わされる会話や、ビジネス文書を題材にして、基本的な用語、言い回し、スタイルなどを学ぶ。
	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジネスで使われる基本的な用語、言い回しを使えるようになる。 ・ ビジネス文書の基本的なスタイルを学び、書けるようになる。
授業計画	(1) 授業概要説目 (2) Lesson 1: jobu Hunting (3) Lesson 2: The First Day (4) Lesson 3: Writing Email (5) Lesson 4: Greeting a Visitor (6) Lesson 5: Explaining a Corporate Profile (7) Lesson 6: Deciding on a Date for a Meeting (8) Lesson 7: Attending a Meeting (9) Lesson 8: Dealing with Complaints (10) Lesson 9: Getting Ready for an Overseas Business Trip (11) Lesson 10: Gathering Information for a Presentation (12) Lesson 11: Wrtiing a Presentation Draft (13) Lesson 12: Traveling Abroad for the First Time (14) Lesson 13: Giving a Presentation (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・ 意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	授業の初めに、前回の授業内容についてのクイズを行う。
使用教材・参考文献	【教】 岡本真由美・中邑光男 『Make It in Business（ビジネス英語はじめの一步）』 センゲージラーニング株式会社 2010年 ISBN: 978-4-86312-148-5 【参】 英語の辞書	
成績評価方法と基準	<基準> ビジネスで使われる英語の基本的な用語、言い回し、スタイルを使えるようになった者は合格とする。 <方法> 期末試験50%、受講態度20%、課題ほか30%	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予習、復習をしっかりとすること。 ・ 辞書を毎回必ず持ってくること。 	

科目名	英語D（ビジネス英語Ⅱ）	
担当者	藏本 真衣 / KURAMOTO, Mai	
科目情報	外国語（英語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	テキストの実例文をもとにビジネスレター、Eメール、お礼・苦情等の社交の手紙、CV（履歴書）の書き方を学ぶ。
	到達目標	基礎的なビジネスレター、Eメール、社交文、履歴書等に相応しい英語表現を学び、それぞれの目的に応じた文書を英語で書けるようになる。
授業計画	(1) Social letters and Business letters E-mail (2) Letter of Thanks (3) Letter for Application and CV (4) Passing on Information (5) Making a Request (6) Establishing a Business relationship (7) レターとEメールの表現法の違い・ネチケットについて (8) Introducing Yourself to a New Customer (9) Purchasing Products I (10) Purchasing Products II (11) Responding to an Inquiry (12) How to Sell a Product I・II・III (13) Asking for a Price Reduction (14) 困ったときのEメール表現表 (15) まとめ	
自学自習	事前学習	前回の講義を参考に、課題の下書きを作成し、担当者にメールで提出。次回の範囲の予習。
	事後学習	講義中の訂正を参考に、課題の清書版を作成する。返却された訂正、アドヴァイス付き提出課題を熟読し、英語力を高める。
使用教材・参考文献	【教】 松崎久純 『英文ビジネスレター&Eメールの正しい書き方』2004年 研究社 ISBN 978-4-327-43053-5 C1082 【参】	
成績評価方法と基準	<基準> 課題を提出し、基本的な英文ビジネスレターが書けるようになったものを合格とする。 <方法> 受講態度10% 提出物50%、 終了試験40%。	
備考	基本的に、メールで課題提出をするため、使用可能なメールアドレスを準備するように。講義内容と評価方法については、初回の講義で説明する。	

科目名	ドイツ語 I	
担当者	山原 芳樹 / YAMAHARA, Yoshiki	
科目情報	外国語（ドイツ語） / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	文字と綴り・発音の原則を学習した後に、自然なドイツ語の発音ができるまで練習を重ねる。そのあとで、文法を学ぶ上で最も基本的な事項である「動詞の現在人称変化」と「名詞の格変化」を扱う。並行して、ドイツ語圏の人々の暮らしや文化についての映像や資料を紹介する。
	到達目標	1) ドイツ語の母音および子音に関する発音原則を理解し、単語や文章をきちんと音読できる。2) 日常の挨拶や簡単な会話ができるようになる。3) 簡単な自己紹介ができるようになる。
授業計画	(1) ヨーロッパ各国とドイツ語圏、EU加盟国、世界の言語 (2) 文字、つづりと発音、注意すべき母音と子音の発音 (3) 挨拶、曜日名、月名、数詞：発音練習 (4) 第1課 人称代名詞と動詞の現在形（1）：現在人称変化 (5) 人称代名詞と動詞の現在形（2）：haben, sein (6) 語順、「はい」「いいえ」の使い方 (7) 自己紹介(出身地)、文法練習問題 (8) 会話しよう 「ミュンヘンで自己紹介」「ことば」 (9) 第2課 名詞の性と冠詞 (10) 定冠詞と名詞の変化 (11) 不定冠詞と名詞の変化 (12) 格の用法、人称代名詞の使い方 (13) 表現練習：職業と専攻名、文法練習問題 (14) 会話しよう 「ザルツブルクの美術館で」、「塩」 (15) 読んでみよう「グーテン・ターク」「クール・ジャパン」	
自学自習	事前学習	・「教科書」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・授業の初めに、前回の授業内容の小テストを行う
使用教材・参考文献	【教】 『ブーメラン』小野寿美子・中川明博・西巻丈児著、2013年第3版、朝日出版社（ISBN978-4-255-25360-2 C1084） 【参】 独和辞典を必ず用意すること。『新アポロン独和辞典』（同学社）、『新アクセス独和辞典』（三修社）、『新クラウン独和辞典』（三省堂）等、見出し語数が5万以上のものが望ましい。	
成績評価方法と基準	<基準> ドイツ語の初歩的な文法事項を理解していて、評価点の合計が60点以上を取得した者は合格とする。 <方法> 受講態度15%、小テスト25%、期末試験60%	
備考		

科目名	ドイツ語Ⅱ	
担当者	山原 芳樹 / YAMAHARA, Yoshiki	
科目情報	外国語（ドイツ語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	前期に引き続いて定冠詞（類）および不定冠詞（類）の格変化を学習するとともに、あらたに前置詞の格支配についても学習し、その幅広い用法に理解を深める。また動詞関係では、不規則な現在人称変化とともに命令形を学ぶ。
	到達目標	1) 代表的な不規則動詞の現在人称変化を言うことができる。2) 定冠詞（類）および不定冠詞（類）のついた名詞の格変化形を言うことができる。3) 前置詞を用いて場所や方法等を表現できる。4) 人称代名詞の3格・4格の使い方が分かる。
授業計画	(1) 第3課 不規則動詞の現在人称変化 (2) 命令形：命令文と依頼文 (3) 名詞の複数形、数詞、買い物（野菜と果物） (4) 非人称のes、時刻の表現 (5) 表現練習「のりもの」「野菜と果物」：文法練習問題 (6) 会話と読解「ヴィーン市街で」「芸術の都ヴィーン」 (7) 第4課 定冠詞類と不定冠詞類 (8) 否定表現：否定冠詞の用法、nichtの位置、並列の接続詞 (9) 表現練習「身につけるもの」「家族」：文法練習問題 (10) 会話と読解「ハンブルクで買い物」「家族のプロフィール」 (11) 第5課 前置詞の格支配（3格支配、4格支配） (12) 前置詞の格支配（3・4格支配）、定冠詞との融合形 (13) 人称代名詞の3格と4格、疑問代名詞 was と wer (14) 街の施設と建物、動詞の格支配：文法練習問題 (15) 会話と読解練習「バーゼルで道を尋ねる」「スイスの産業都市」	
自学自習	事前学習	・「教科書」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・授業の初めに、前回の授業内容の小テストを行う
使用教材・参考文献	【教】 『ブーメラン』小野寿美子・中川明博・西巻丈児著、2013年第3版、朝日出版社（ISBN978-4-255-25360-2 C1084） 【参】 独和辞典は必ず用意すること。『新アポロン独和辞典』（同学社）、『新アクセス独和辞典』（三修社）、『新クラウン独和辞典』（三省堂）等、見出し語数が5万以上のものが望ましい。	
成績評価方法と基準	<基準> ドイツ語で家族紹介ができ、道を尋ねたり、買い物をしたりする基本的な表現を習得していて、評価点の合計が60点以上の者を合格とする。 <方法> 受講態度15%、小テスト25%、期末試験60%	
備考	ドイツ語Iを履修していることを前提にして授業を進める。	

科目名	ドイツ語Ⅲ	
担当者	山原 芳樹 / YAMAHARA, Yoshiki	
科目情報	外国語（ドイツ語） / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	話法の助動詞や分離動詞を学んで、表現内容の幅を広げるとともに、動詞三基本形の作り方を習得して、時称変化形の用法を会得する。また、形容詞で修飾する名詞の変化形の原則および代表的な不定代名詞の用法を学習する。
	到達目標	1) 代表的な話法の助動詞の変化形を言うことができる。2) 分離動詞を用いて作文ができる。3) 定冠詞（類）および不定冠詞（類）のついた名詞の格変化形を記すことができる。4) 代表的な動詞の三基本形を言うことができる。5) 現在完了形で報告文を書くことができる。
授業計画	(1) 第6課 話法の助動詞と枠構造 (2) 分離動詞と枠構造、「催し物」 (3) 従属接続詞と副文「鷗外とドイツ」 (4) 会話練習「コンサートに行きたい」 (5) 不定代名詞:文法練習問題 (6) 読んでみよう「ベルリンでコンサートに行く」 (7) 第7課 形容詞の付加語的用法 (8) 形容詞・副詞の比較、「食べ物」 (9) 会話練習「レストランでの食事」： 文法練習問題 (10) 読んでみよう「原発に代わるエネルギーを」 (11) 第8課 動詞の3基本形 作り方 (12) 現在完了形の形と用法 (13) 「昨日・今日・明日」： 文法練習問題 (14) 会話練習「週末の外出」「天職」 (15) 読んでみよう「世界文化遺産 ヴァルトブルク城」	
自学自習	事前学習	・「教科書」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・授業の初めに、前回の授業内容の小テストを行う
使用教材・参考文献	【教】 『ブーメラン』 小野寿美子・中川明博・西巻丈児著、2013年、朝日出版社（ISBN978-4-255-25360-2 C1084）	【参】 独和辞典：『新アポロン独和辞典』（同学社）、『新アクセス独和辞典』（三修社）、『新クラウン独和辞典』（三省堂）等、見出し語数が5万以上のものが望ましい。
成績評価方法と基準	<基準> ドイツ語で簡単な家族紹介ができる。また長文の構造を分析し、辞書を用いながら、内容の概略を説明することができる。	<方法> 受講態度15%、小テスト25%、期末試験60%。
備考	ドイツ語Ⅱを履修したことを前提にして授業を進める。	

科目名	ドイツ語Ⅳ	
担当者	山原 芳樹 / YAMAHARA, Yoshiki	
科目情報	外国語（ドイツ語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	動詞の6時称の作り方と用法を習得し、これらの形を会話や作文で使用する力を高める。さらに、ドイツ語でよく用いられる形容詞・副詞の比較級、関係代名詞、再帰動詞等について理解を深めるとともに、受動態および接続法の用法についても時間が許すかぎり詳しく学ぶ。
	到達目標	1) 3基本形の作り方を理解し、重要なものを暗記する。2) 過去形、現在完了形を会話や作文の中で運用できる。3) 関係代名詞を用いて2つの文を結合することができる。4) 受動態の作り方と意味を理解する。5) 接続法の形と用法、意味について理解する。
授業計画	(1) 第9課 過去形の作り方 (2) 再帰代名詞と再帰動詞、 (3) 相互代名詞「音楽関係の言葉」「マイスター試験」 (4) 会話練習「ヴァイマルで」：文法練習問題 (5) 読んでみよう「ドイツ屈指の文化都市 ヴァイマル」 (6) 第10課 zu不定詞の用法 (7) 関係代名詞 (8) 「祝祭」とお祝いの言葉：文法練習問題 (9) 会話練習 「冬休みに」「祭り」 (10) 読解練習「ケルンの水」 (11) 補足 受動態の作り方 (12) 受動態の用法 (13) 接続法とは何か、その作り方 (14) 接続法の用法 (1) 間接話法 (15) 接続法の用法 (2) 非現実話法	
自学自習	事前学習	・「教科書」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・授業の初めに、前回の授業内容の小テストを行う
使用教材・参考文献	【教】 『ブーメラン』小野寿美子・中川明博・西巻丈児著、2013年、朝日出版社（ISBN978-4-255-25360-2 C1084） 【参】 ・『新アポロン独和辞典』（同学社）、『新アクセス独和辞典』（三修社）、『新クラウン独和辞典』（三省堂）等、見出し語数が5万以上のものが望ましい。	
成績評価方法と基準	<基準> ドイツ語で簡単な報告書が書ける。また長文を構造分析し、辞書を使いながら内容の概略を説明することができる。する。 <方法> レポート、試験などの成績評価手段を記入して下さい。また、複数の評価方法を使用する場合は、それらの基準、配分割合についても明記して下さい（テスト80%、受講態度20%、小テスト（20点）、終了試験（60点）、など）。	
備考	・ドイツ語Ⅲの内容を理解したことを前提にして授業を進める。	

科目名	フランス語 I	
担当者	飯田 伸二 / IIDA, Shinji	
科目情報	外国語（フランス語） / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	初心者を対象とした講義です。 日常会話を通して、フランス語の発音の基礎、基本的な文法を学びます。
	到達目標	フランス語による初歩的な自己紹介文を学ぶことを通じ、フランス語の単語・文章が音読できるようになる。 フランス語による自己紹介の練習を行うことにより、フランス語で自己紹介が出来るようになる。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> (1) 教室で使う表現。自分の名前を言う。相手に名前を尋ねる。 (2) 教室で使う表現。第三者の名前を言う。第三者の名前を尋ねる。 (3) 自分の国籍・出身地を言う。相手に国籍・出身地を尋ねる。数字を1から10まで覚える。 (4) 第三者の国籍・出身地を言う。第三者の国籍・出身地を尋ねる。 (5) 自分の住んでいる場所を言う。相手にすんでいる場所を尋ねる。数字を60まで覚える。 (6) 自分の年齢を言う。相手・第三者の年齢を尋ねる。 (7) これまでの復習。買い物の練習。 (8) 自分の職業を言う。相手に職業を尋ねる。 (9) 自分が話せる言語を言う。相手に話せる言語を尋ねる。 (10) 第三者の職業、話せる言語を尋ねる。 (11) 数字を1000まで覚える。自分の電話番号を言い、相手に電話番号を尋ねる。 (12) これまでの復習。 (13) 自分の好きなこと嫌いなことを言う。相手に好きな事、嫌いな事を尋ねる。 (14) 自分が生まれた年、第三者が生まれた年を言う。 (15) 前期の復習とまとめ。 	
自学自習	事前学習	事前に教科書に目を通しておくこと。できれば、一度音読してみる。
	事後学習	授業の始めに、復習課題・小テストを実施します。小テストの内容は細かく指示します。真面目に取り組んで下さい。
使用教材・参考文献	<p>【教】 中川務、中井珠子、曾我祐典『フランス語2020』白水社 2012年 ISBN 978-4-560-06105-3</p> <p>【参】 詳細は開講時に指示します。</p>	
成績評価方法と基準	<p><基準> フランス語で自己紹介文が書け、簡単な質問にきちんとした文で答えることができる。</p> <p><方法> 学期末試験80%、平常点（授業への参加具合＋小テストへの取り組み）20%</p>	
備考		

科目名	フランス語Ⅱ	
担当者	飯田 伸二 / IIDA, Shinji	
科目情報	外国語（フランス語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	フランス語を半年学習した受講生向けの授業です。 フランス語の発音や、文法の基礎（おもに不規則動詞の現在形）を学びます。
	到達目標	使用頻度の高いフランス語の規則動詞、不規則動詞を学ぶことで1週間の予定、1日の予定が言える。 1日予定に関する会話を学ぶことで、フランス語で正確な時刻が言える。 動詞、場所・時刻の表現を学ぶことで、フランス語で相手を誘ったり、誘いを断ることができる。
授業計画	(1) 前期試験の講評。前期の復習。 (2) 曜日、動詞の活用。 (3) 前回の復習。1週間の予定。 (4) 前回の復習。週末の予定。 (5) 前回の復習。時刻にかんする表現。 (6) 前回の復習。一日の予定。 (7) 前回の復習。一日の予定（つづき）。 (8) 前回の復習。一日の予定（つづき）。 (9) 前回の復習。一日の予定（つづき）。動詞の活用。 (10) 前回の復習。一日の予定（まとめ）。動詞の活用（つづき）。 (11) 前回の復習。待ち合わせ、誘い、断りの表現。 (12) 前回の復習。待ち合わせ、誘い、断りの表現（つづき）。 (13) 前回の復習。天気を表す表現。 (14) 前回の復習。複合過去。 (15) 前回の復習。複合過去（つづき）。	
自学自習	事前学習	事前に教科書に目を通しておくこと。できれば、一度音読してみる。
	事後学習	授業の始めに、復習課題・小テストを実施します。小テストの内容は細かく指示します。真面目に取り組んで下さい。
使用教材・参考文献	【教】 中川務、中井珠子、曾我祐典『フランス語2020』白水社 2012年 ISBN 978-4-560-06105-3 【参】 進度に応じ、適宜指示します。	
成績評価方法と基準	<基準> フランス語で1日の予定、1週間の予定が書ける。1日の予定、1週間の予定に関する質問を理解し、的確に答えることができる。 <方法> 学期末試験80%、平常点（授業への参加具合＋小テストへの取り組み）20%	
備考		

科目名	フランス語Ⅲ	
担当者	飯田 伸二 / IIDA, Shinji	
科目情報	外国語（フランス語） / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	フランス語1年間学習した受講生向けの授業です。 フランス語の発音や、文法の基礎（おもに動詞の複合過去形）を学びます。
	到達目標	複合過去形を学ぶことによって、すでにしたこと、週末にしたことが言える。
授業計画	(1) 前学期の復習。 (2) 複合過去形（導入）。 (3) 前回の復習。週末にしたこと。動詞の活用（複合過去形）。 (4) 前回の復習。動詞の活用（複合過去形、まとめ）。 (5) 前回の復習。昨日したこと。 (6) 前回の復習。昨日したこと（つづき）。動詞の活用（複合過去形）。 (7) 前回の復習。旅行中にしたこと。動詞の活用（複合過去形）。 (8) 前回の復習。半過去（導入）。過去の習慣。 (9) 前回の復習。半過去。半過去と複合過去の使い分け。 (10) 前回の復習。半過去。半過去と複合過去の使い分け（つづき）。動詞の活用（半過去形）。 (11) 過去形のまとめ。 (12) 場所を表す表現。 (13) 場所を表す表現。自分が住んでいる町を紹介する。 (14) 場所を表す表現。自分が住んでいた町を紹介する（つづき）。 (15) まとめ	
自学自習	事前学習	事前に教科書に目を通しておくこと。できれば、一度音読してみる。
	事後学習	授業の始めに、復習課題・小テストを実施します。小テストの内容は細かく指示します。真面目に取り組んで下さい。
使用教材・参考文献	【教】 中川務、中井珠子、曾我祐典『フランス語2020』白水社 2012年 ISBN 978-4-560-06105-3 【参】 進度に応じ、適宜指示します。	
成績評価方法と基準	<基準> フランス語ですでにしたこと、1週間にしたことが言える。それに関する質問に的確に答えることができる。 自分と事物の位置関係が的確に表現できる。 <方法> 学期末試験80%、平常点（授業への参加具合＋小テストへの取り組み）20%	
備考		

科目名	フランス語Ⅳ	
担当者	飯田 伸二 / IIDA, Shinji	
科目情報	外国語（フランス語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	既にフランス語を1年半学んだ受講生、あるいはそれに相当する語学力のある方を対象とした講義です。 おもに過去の語り方、描写。勧誘に関する表現を学びます。
	到達目標	複合過去、半過去を学ぶことで、過去にしたことを語るができる。 形容詞を学ぶことで、人物、事物の描写ができる。 モード（法）について学ぶことで、したいこと、しなければならないことが言える。
授業計画	(1) 前学期の復習。 (2) できごとと背景。 (3) 前回の復習。複合過去と半過去の復習とまとめ。 (4) 前回の復習。品質形容詞。描写。 (5) 前回の復習。主観を表す表現。意見・印象。 (6) 前回の復習。指示代名詞。欲しい物を示す。 (7) 前回の復習。好き嫌い、その理由。 (8) 前回の復習。身体の調子。 (9) 前回の復習。したいこと。しなければならないこと。 (10) 前回の復習。助言する。 (11) 前回の復習。許可。 (12) 前回の復習。依頼・指示。 (13) 前回の復習。依頼・指示。メール、手紙の書き方。 (14) 前回の復習。依頼・指示。メール、手紙の書き方（続き）。 (15) まとめと復習。	
自学自習	事前学習	事前に教科書に目を通しておくこと。できれば、一度音読してみる。
	事後学習	授業の始めに、復習課題・小テストを実施します。小テストの内容は細かく指示します。真面目に取り組んで下さい。
使用教材・参考文献	【教】 中川務、中井珠子、曾我祐典『フランス語2020』白水社 2012年 ISBN 978-4-560-06105-3 【参】 進度に応じ、適宜指示します。	
成績評価方法と基準	<基準> 過去にしたことを語るができる。人物、事物の描写ができる。 自分・話し相手・第三者がしたいこと、しなければならないことが言える。 <方法> 学期末試験80%、平常点（授業への参加具合＋小テストへの取り組み）20%	
備考		

科目名	中国語 I	
担当者	横山 政子 / YOKOYAMA, Masako	
科目情報	外国語（中国語） / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	人間・文化・社会を理解するための基礎的教養	
科目概要	授業内容	この授業は中国語を初めて学ぶ人が対象です。現代中国語（普通話）の発音と文法を中心に、聞く、話す、読む、書くを総合的に学習します。
	到達目標	前期は入門編として、発音の習得に重点を置きます。「ピンイン」と呼ばれる発音記号にそって発音できることが目標です。そのために音の上がり下がりである「声調」に慣れるよう練習を繰り返します。
授業計画	(1) 発音1 声調、短母音、複母音 (2) 発音2 無気音、有気音、そり舌音 (3) 発音3 鼻音 (4) 発音4 声調の組み合わせ (5) 第1課「こんにちは」 動詞「是」、名前の言い方。「こんにちは、私は～と申します」 (6) 第1課 〃 (7) 第2課「学校」 助詞「的」、疑問詞。「あなたはどちらの大学の学生ですか？」 (8) 第2課 〃 (9) 第3課「新宿」 動詞述語文。「あなたはどこへ行きますか？」 (10) 第3課 〃 (11) 第4課「カメラを買う」 形容詞述語文、助動詞。「私はデジタルカメラが買いたい」 (12) 第4課 〃 (13) 第5課「家族を語る」 動詞「有」、年齢の言い方。「私には兄がいます」 (14) 第5課 〃 (15) 総復習	
自学自習	事前学習	・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・学習した本文を暗誦しよう。
使用教材・参考文献	【教】 相原茂・陳淑梅・飯田敦子著『（簡明版）日中いぶこみ広場』朝日出版社、2014年新刊、ISBN978-4-255-45237-1 【参】	
成績評価方法と基準	<基準> 授業に休まず参加することが大切です。少なくとも全体の3分の2以上の出席が必要です。「ピンイン」にそって発音できるようになったものは合格とします。 <方法> 受講態度（20%）、小テスト（30%）、期末試験（50%）。	
備考	授業に積極的に参加することが単位取得の近道です。	

科目名	中国語 I	
担当者	谷口 明夫 / TANIGUCHI, Akio	
科目情報	外国語（中国語） / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	この授業は中国語を初めて学ぶ人が対象です。 中国語の発音と基本的文法、日常の挨拶言葉、短い文の読解、簡単な作文を学びます。
	到達目標	1. 4種の声調と半3声、声調変化の規則を理解し、声母と韻母を正確に発音し、自分の名前を中国語で紹介できるようになる。 2. 簡単な挨拶、1～10の数字と「是」（である）と「有」（持っている）の構文を肯定、否定、疑問の形で言えるようになる。
授業計画	(1) 4つの声調とその声調には意味があるということ。単母音と声調の練習 (2) 単母音・複母音と声調の練習。挨拶の言葉、主語と述語だけの短文 (3) 声母の発音練習。無気音と有気音、摩擦音、巻舌音、新しい単語と文 (4) 鼻音の練習。1～10の数字の発音、新しい単語と文 (5) 第1課 人称代名詞と自己紹介 (6) 同上 発音、朗読の練習と練習問題 (7) 第2課 「是」（～です）の表現とその疑問形 (8) 同上 発音、朗読の練習と練習問題 (9) 第3課 目的語のある表現（～を～する）と形容詞述語文 (10) 同上 発音、朗読の練習と練習問題 「こそあど」言葉と「～的」（～の）の表現 (11) 同上 反復練習 (12) 第4課 「想～」（～したい） (13) 第5課 「有～」（～をもっている） 数の言い方（1～9999億） 家族の呼び方 (14) 同上 反復練習 比較（～よりも～だ）の表現 (15) 練習問題 総まとめ	
自学自習	事前学習	付録のCDを聞いておく。
	事後学習	学んだ文法と新出単語を復習して覚える。
使用教材・参考文献	【教】 相原茂・陳淑梅・飯田敦子『日中いぶこみ広場』 朝日出版社 2011年 【参】 相原茂 『はじめての中国語学習辞典』 朝日出版社 2002年	
成績評価方法と基準	<基準> 中国語で自分の名前を紹介できること、1～10の数字を正確に発音できることが合格の最低条件です。 <方法> 発音：20点 筆記試験：80点	
備考		

科目名	中国語Ⅱ	
担当者	横山 政子 / YOKOYAMA, Masako	
科目情報	外国語（中国語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	人間・文化・社会を理解するための基礎的教養	
科目概要	授業内容	「中国語Ⅰ」を履修した人が対象です。現代中国語（普通話）の発音と文法を中心に、聞く、話す、読む、書くを総合的に学習します。
	到達目標	前期に学習した発音を反復練習して定着させるとともに、後期終了の段階で、基本的な文法構造を理解して、簡略化された漢字である「簡体字」を用いて表現できるようになることが目標です。
授業計画	(1) 前期の復習 (2) 第6課「富士山」 経験をあらわす表現。「私は富士山に登ったことがあります」 (3) 第6課 " (4) 第7課「喫茶店」 年月日・曜日・時刻の言い方、前置詞。「毎日何時に寝ますか？」 (5) 第7課 " (6) 第7課 " (7) 第8課「街」 前置詞、時間量。「ここからまっすぐ」「どのくらいかかりますか？」 (8) 第8課 " (9) 第8課 " (10) 第9課「京都」 動詞「在」、進行の表し方。「どこにいますか？」「食事をしています」 (11) 第9課 " (12) 第9課 " (13) 第10課「寿司」 主述述語文、結果補語。「お腹がすきましたか？」「書き終わりました」 (14) 第10課 " (15) 第10課 "	
自学自習	事前学習	・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・学習した本文を暗誦しよう。
使用教材・参考文献	【教】 相原茂・陳淑梅・飯田敦子著『（簡明版）日中いぶこみ広場』朝日出版社、2014年新刊、ISBN978-4-255-45237-1 【参】	
成績評価方法と基準	<基準> 授業に休まず参加することが大切です。少なくとも全体の3分の2以上の出席が必要です。基本的な文法構造を理解して表現できるようになったものは合格とします。 <方法> 受講態度（20%）、小テスト（30%）、期末試験（50%）。	
備考	授業に積極的に参加することが単位取得の近道です。	

科目名	中国語Ⅱ	
担当者	谷口 明夫 / TANIGUCHI, Akio	
科目情報	外国語（中国語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	中国語Ⅰで学んだ発音をさらに正確なものとし、語彙を増やし、新しい文法と表現を学びます。簡単な文章を読んで書く練習もします。
	到達目標	(1) 経験の表現、数字を使った表現(年月日・曜日・時刻等)、「～するのが好き」の表現を理解し使うことができる。 (2) 「要」・「能」などの助動詞を使うことができる。 (3) 「在～」・「从～到～」と結果補語の表現を理解し使うことができる。
授業計画	(1) オリエンテーション 前期の復習 第6課 本文の朗読と新しい単語 (2) 第6課 朗読、経験の表現 「～するのが好き」 助動詞「要」 (3) 同上 数詞を使った表現 練習問題 (4) 第7課 朗読と新しい単語 年月日、曜日、時刻の言い方 (5) 同上 文末の「了」 状況変化の表現 (6) 同上 練習問題 (7) 第8課 朗読と新しい単語 時間量の言い方 量詞の用法 (8) 同上 「～から」と「～へ」の表現 (9) 同上 朗読 練習問題 (10) 第9課 朗読と新しい単語 「～に在る」の表現 (11) 同上 「～しているところだ」 進行の表現 (12) 同上 朗読 練習問題 (13) 第10課 朗読と新しい単語 可能の表現 「能」 (14) 同上 結果補語 動作の結果まで含めた言い方 (15) 同上 練習問題 総まとめ	
自学自習	事前学習	・付属のCDで発音を聞いておく。
	事後学習	・学んだ文法と新出単語を復習して記憶する。 ・テキストの本文を何度も読み、書き写す。
使用教材・参考文献	【教】 相原茂 陳淑梅 飯田敦子 『日中いぶこみ広場』 朝日出版社 2011年 【参】 相原茂編著 『はじめての中国語学習辞典』 朝日出版社 2002年	
成績評価方法と基準	<基準> 経験の表現や数詞を使った表現、助動詞・結果補語を含む文等を理解し、翻訳し、かつ簡単な作文ができたなら合格とします。 <方法> 発音：20点 筆記試験：80点	
備考		

科目名	中国語Ⅲ	
担当者	横山 政子 / YOKOYAMA, Masako	
科目情報	外国語（中国語） / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	人間・文化・社会を理解するための基礎的教養	
科目概要	授業内容	「中国語Ⅱ」を履修した人が対象です。現代中国語（普通話）の発音と文法を中心に、話す、聞く、読む、書くを総合的に学習します。
	到達目標	1年次の学習を土台に、より高度な表現を習得します。文法体系の学習をさらに進めて、語彙を増やし、前期終了の段階で、日常生活でよく使うような表現ができることが目標です。
授業計画	(1) 1年次の復習 (2) 第11課「スキー」 助動詞、様態補語。「スキーができますか?」「滑るのが上手です」 (3) 第11課 " (4) 第12課「動物園」 方向補語、助動詞。「入っていこう」「写真を撮ってもいいですか?」 (5) 第12課 " (6) 第12課 " (7) 第13課「春休み」 疑問詞の不定用法。「春休みに何か計画がありますか?」 (8) 第13課 " (9) 第13課 " (10) 第14課「空港の外」可能補語、「把」構文。「8時前に帰ってこれますか?」 (11) 第14課 " (12) 第14課 " (13) 第15課「ホテル」 選択疑問文、使役文。「お支払いはカードですか、現金ですか?」 (14) 第15課 " (15) 第15課 "	
自学自習	事前学習	・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・学習した本文を暗誦しよう。
使用教材・参考文献	【教】 相原茂・陳淑梅・飯田敦子著『（初級テキスト）日中いぶこみ広場』朝日出版社、2011年、ISBN978-4-255-45193-0（中国語Ⅰ・Ⅱで使用したテキストです） 【参】	
成績評価方法と基準	<基準> 授業に休まず参加することが大切です。少なくとも全体の3分の2以上の出席が必要です。日常会話に必要な基本的語彙を習得して、会話、作文ができたものは合格とします。 <方法> 受講態度（20%）、小テスト（30%）、期末試験（50%）。	
備考	授業に積極的に参加することが単位取得の近道です。	

科目名	中国語Ⅳ	
担当者	横山 政子 / YOKOYAMA, Masako	
科目情報	外国語（中国語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	人間・文化・社会を理解するための基礎的教養	
科目概要	授業内容	「中国語Ⅲ」を履修した人が対象です。現代中国語（普通話）の発音と文法を中心に、話す、聞く、読む、書くを総合的に学習します。
	到達目標	1年次および2年次前期の学習の成果を試すために、中国検定試験の問題にチャレンジします。中国語検定はリスニングと筆記で構成されています。中国語の基礎力を固めることが目標です。
授業計画	(1) 前期の復習 (2) 第16課「部屋の中」 受身文。「わたしのデジタルカメラは兄に持って行かれました」 (3) 第16課 " (4) 第16課 " (5) 中国語検定に挑戦してみよう リスニング問題① (6) " 筆記問題① (7) " リスニング問題② (8) " 筆記問題② (9) " リスニング問題③ (10) " 筆記問題③ (11) " リスニング問題④ (12) " 筆記問題④ (13) " リスニング問題⑤ (14) " 筆記問題⑤ (15) 総復習	
自学自習	事前学習	・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・学習した文を暗誦しよう。
使用教材・参考文献	【教】 相原茂・陳淑梅・飯田敦子著『（初級テキスト）日中いぶこみ広場』朝日出版社、2011年、ISBN978-4-255-45193-0（中国語Ⅰ・Ⅱで使用したテキストです） 【参】	
成績評価方法と基準	<基準> 授業に休まず参加することが大切です。少なくとも全体の3分の2以上の出席が必要です。中国語検定試験問題の6割が正解すれば合格とします。 <方法> 受講態度（20%）、小テスト（30%）、期末試験（50%）。	
備考	授業に積極的に参加することが単位取得の近道です。	

科目名	韓国語 I	
担当者	入佐 信宏 / IRISA, Nobuhiro	
科目情報	外国語（韓国語） / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	この授業は韓国語を初めて学習する人が対象です。韓国語の文字（ハングル）と発音から学習します。授業では、韓国語の文法および表現等について説明した後、音読練習・対話練習・作文練習をします。映像資料等を用いて韓国文化の紹介もする予定です。
	到達目標	(1) 韓国語の文字と発音を正確に習得する。 (2) 自己紹介ができる。 (3) 身の回りの物や人について表現できる。 (4) 予定・習慣について表現できる。 (5) 月日を表現できる。
授業計画	(1) 韓国語の文字と発音 (2) 韓国語の文字と発音 (3) 韓国語の文字と発音、名前のハングル表記、自己紹介 (4) 名前・職業・国籍を表現する (5) " " (6) 身の回りの物について表現する (7) " " (8) 名前を尋ねる、存在を表す (9) 家や学校について話す (10) 物や人の位置関係を表現する (11) 動詞の「へヨ体（丁寧な文体）」 (12) 動詞の「へヨ体（丁寧な文体）」、予定・習慣について話す (13) 予定・習慣について話す (14) 趣味、職業、国籍を尋ねる (15) 月日や電話番号を尋ねる	
自学自習	事前学習	前回の授業で学習した内容を確認しておくこと。
	事後学習	対話文の音読練習、宿題、小テスト(3回実施予定)の対策
使用教材・参考文献	【教】 入佐信宏・文賢珠 『よくわかる韓国語STEP1』 白帝社 2002年 【参】 入佐信宏 『書き込み式 美しいハングル練習帳』 白帝社 2008年	
成績評価方法と基準	<基準> 上記の到達目標に達した者を合格とします。 <方法> 授業での積極性(10点)、小テスト(30点)、期末試験(60点)で評価します。 上記評価方法により、合計が60点以上に到達した者を合格とします。	
備考		

科目名	韓国語 I	
担当者	金 孝珍 / Kim Hyojin	
科目情報	外国語（韓国語） / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	この授業は韓国語を初めて学習する人が対象です。韓国語の文字（ハングル）と発音から学習します。授業では、韓国語の文法および表現等について説明した後、音読練習・対話練習・作文練習をします。映像資料等を用いて韓国文化の紹介もする予定です。
	到達目標	(1) 韓国語の文字と発音を正確に習得する。 (2) 自己紹介ができる。 (3) 身の回りの物や人について表現できる。 (4) 予定・習慣について表現できる。 (5) 月日を表現できる。
授業計画	(1) 韓国語の文字と発音 (2) 韓国語の文字と発音 (3) 韓国語の文字と発音、名前のハングル表記、自己紹介 (4) 名前・職業・国籍を表現する (5) " " (6) 身の回りの物について表現する (7) " " (8) 名前を尋ねる、存在を表す (9) 家や学校について話す (10) 物や人の位置関係を表現する (11) 動詞の「へヨ体（丁寧な文体）」 (12) 動詞の「へヨ体（丁寧な文体）」、予定・習慣について話す (13) 予定・習慣について話す (14) 趣味、職業、国籍を尋ねる (15) 月日や電話番号を尋ねる	
自学自習	事前学習	前回の授業で学習した内容を確認しておくこと。
	事後学習	対話文の音読練習、宿題、小テスト(3回実施予定)の対策
使用教材・参考文献	【教】 入佐信宏・文賢珠 『よくわかる韓国語STEP1』 白帝社 2002年 【参】 入佐信宏 『書き込み式 美しいハングル練習帳』 白帝社 2008年	
成績評価方法と基準	<基準> 上記の到達目標に達した者を合格とします。 <方法> 授業での積極性(10点)、小テスト(30点)、期末試験(60点)で評価します。 上記評価方法により、合計が60点以上に到達した者を合格とします。	
備考		

科目名	韓国語Ⅱ	
担当者	入佐 信宏 / IRISA, Nobuhiro	
科目情報	外国語（韓国語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	この授業は「韓国語Ⅰ」の履修者または韓国語を3ヶ月程度学習した人が対象です。授業では、韓国語の文法および表現等について説明した後、音読練習・対話練習・作文練習をします。映像資料等を用いて韓国文化の紹介もする予定です。
	到達目標	(1) 数字を用いて時間・値段・個数が表現できる。 (2) 自分の気持ち・人や物の様子が表現できる。 (3) 店や食堂で買い物をしたり、注文したりできる。 (4) 過去の行動や、過去に感じたことが表現できる。 (5) 提案したり、誘ったりすることができる。
授業計画	(1) 韓国語Ⅰの復習、数を数える、時間を表現する (2) 生活習慣について話す (3) 授業時間・営業時間等を表現する (4) 形容詞の「へヨ体（丁寧な文体）」 (5) 形容詞の「へヨ体（丁寧な文体）」、自分の気持ち・人や物の様子を表現する (6) 自分の気持ち・人や物の様子を表現する (7) 移動の手段・所要時間を表現する (8) 値段を表現する（店で） (9) 個数を言って注文する（食堂で） (10) 食堂での会話 (11) 動詞の過去形、過去の行動について表現する (12) 過去の行動について表現する (13) 形容詞の過去形、過去の状態、感じたことを表現する (14) 提案する、提案を受ける (15) 移動の目的を表現する、相手を誘う	
自学自習	事前学習	前回の授業で学習した内容を確認しておくこと。
	事後学習	対話文の音読練習、宿題、小テスト(3回実施予定)の対策
使用教材・参考文献	【教】 入佐信宏・文賢珠 『よくわかる韓国語STEP1』 白帝社 2002年 【参】	
成績評価方法と基準	<基準> 上記の到達目標に達した者を合格とします。 <方法> 授業での積極性(10点)、小テスト(30点)、期末試験(60点)で評価します。上記評価方法により、合計が60点以上に到達した者を合格とします。	
備考		

科目名	韓国語Ⅱ	
担当者	金 孝珍 / Kim Hyojin	
科目情報	外国語（韓国語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	この授業は「韓国語Ⅰ」の履修者または韓国語を3ヶ月程度学習した人が対象です。授業では、韓国語の文法および表現等について説明した後、音読練習・対話練習・作文練習をします。映像資料等を用いて韓国文化の紹介もする予定です。
	到達目標	(1) 数字を用いて時間・値段・個数が表現できる。 (2) 自分の気持ち・人や物の様子が表現できる。 (3) 店や食堂で買い物をしたり、注文したりできる。 (4) 過去の行動や、過去に感じたことが表現できる。 (5) 提案したり、誘ったりすることができる。
授業計画	(1) 韓国語Ⅰの復習、数を数える、時間を表現する (2) 生活習慣について話す (3) 授業時間・営業時間等を表現する (4) 形容詞の「へヨ体（丁寧な文体）」 (5) 形容詞の「へヨ体（丁寧な文体）」、自分の気持ち・人や物の様子を表現する (6) 自分の気持ち・人や物の様子を表現する (7) 移動の手段・所要時間を表現する (8) 値段を表現する（店で） (9) 個数を言って注文する（食堂で） (10) 食堂での会話 (11) 動詞の過去形、過去の行動について表現する (12) 過去の行動について表現する (13) 形容詞の過去形、過去の状態、感じたことを表現する (14) 提案する、提案を受ける (15) 移動の目的を表現する、相手を誘う	
自学自習	事前学習	前回の授業で学習した内容を確認しておくこと。
	事後学習	対話文の音読練習、宿題、小テスト(3回実施予定)の対策
使用教材・参考文献	【教】 入佐信宏・文賢珠 『よくわかる韓国語STEP1』 白帝社 2002年 【参】	
成績評価方法と基準	<基準> 上記の到達目標に達した者を合格とします。 <方法> 授業での積極性(10点)、小テスト(30点)、期末試験(60点)で評価します。上記評価方法により、合計が60点以上に到達した者を合格とします。	
備考		

科目名	韓国語Ⅲ	
担当者	入佐 信宏 / IRISA, Nobuhiro	
科目情報	外国語（韓国語） / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	この授業は「韓国語Ⅱ」の履修者または韓国語を6ヶ月程度学習した人が対象です。授業では、韓国語の文法および表現等について説明した後、音読練習・対話練習・作文練習をします。
	到達目標	(1) 意志や願望が表現できる。 (2) 指示や依頼をすることができる。 (3) 能力や好み表現ができる。 (4) 事柄を並べて表現できる。 (5) 原因・理由が表現できる。 (6) 逆接の表現ができる。
授業計画	(1) 韓国語Ⅱの復習、意志を表現する (2) 願望を表現する (3) 将来の希望を表現する、丁寧に指示する表現 (4) 指示したり、行動を促したりする (5) 依頼する (6) 得意なこと、不得意なことを表現する (7) 同意を求める、好き嫌いを表現する (8) 事柄を並べて表現する (9) 〃 (10) 原因・理由を表現する (11) 〃 (12) 逆接表現 (13) 〃 (14) 動作の順序を表現する (15) 〃	
自学自習	事前学習	前回の授業で学習した内容を確認しておくこと。
	事後学習	対話文の音読練習、宿題、小テスト(3回実施予定)の対策
使用教材・参考文献	【教】 入佐信宏・文賢珠 『よくわかる韓国語STEP1』 白帝社 2002年 入佐信宏・金炫辰 『よくわかる韓国語STEP2』 白帝社 2005年 【参】	
成績評価方法と基準	<基準> 上記の到達目標に達した者を合格とします。 <方法> 授業での積極性(10点)、小テスト(30点)、期末試験(60点)で評価します。 上記評価方法により、合計が60点以上に到達した者を合格とします。	
備考		

科目名	韓国語Ⅳ	
担当者	入佐 信宏 / IRISA, Nobuhiro	
科目情報	外国語（韓国語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）	教育課程の獲得目標	
	多様な文化に対する理解と共感を持ち、最低1つの外国語を運用して、グローバルな社会に参加する姿勢を身につけている	
科目概要	授業内容	この授業は「韓国語Ⅲ」の履修者または韓国語を9ヶ月程度学習した人が対象です。授業では、韓国語の文法および表現等について説明した後、音読練習・対話練習・作文練習をします。
	到達目標	(1) 自分の意見や体験を適切に表現することができる。 (2) 敬語を適切に用いて話すことができる。 (3) 地域の特徴について説明することができる。
授業計画	(1) 韓国語Ⅲの復習、敬語 (2) 敬語を用いて話す (3) 特別敬語 (4) 特別敬語を用いて話す (5) 形容詞の連体形 (6) 形容詞の連体形を用いて話す (7) 能力・可能性を表現する (8) 〃 (9) 仮定条件を表現する (10) 〃 (11) 試み・経験を表現する (12) 〃 (13) 許可・禁止を表現する (14) 〃 (15) 意志・意向を表現する	
自学自習	事前学習	前回の授業で学習した内容を確認しておくこと。
	事後学習	対話文の音読練習、宿題、小テスト(3回実施予定)の対策
使用教材・参考文献	【教】 入佐信宏・金炫辰 『よくわかる韓国語STEP2』 白帝社 2005年 【参】	
成績評価方法と基準	<基準> 上記の到達目標に達した者を合格とします。 <方法> 授業での積極性(10点)、小テスト(30点)、期末試験(60点)で評価します。 上記評価方法により、合計が60点以上に到達した者を合格とします。	
備考		